

キリスト教信仰に基づく 女性支援の歴史 —かにた婦人の村の半世紀—

女性の人権が大切に守られる社会をつくるために、
いま、ふりかえる婦人保護施設と女性支援の歴史

林 葉子

同志社大学人文科学研究科助教

1945年夏の敗戦の後、日本社会の極度の貧しさは、社会的弱者である女性や子どもたちの暮らしを、最も酷く蝕みました。中でも障害を持つ人々は暴力や搾取の標的となりやすく、家族や地域社会からさえ排除されるリスクに常にさらされていました。1956年に制定された売春防止法のもとで新たに設置された婦人保護施設には、戦後の日本社会の混乱の中で性暴力や性的搾取の被害にあった女性たちが、「更生」のため、数多く集められることになりました。

このたび、同志社大学人文科学研究科第94回公開講演会の講演者としてお招きする天羽道子さんと横田千代子さんは、その「婦人保護」の現場で、そこが真の女性支援の場となることを願って、長年にわたって困難な現実と格闘してこられた方々です。この講演会では、お二人が深く関わり続けてきた、かにた婦人の村のことを中心にお話を伺います。

千葉県館山市にあるかにた婦人の村は1965年に設立され、日本で唯一の「婦人保護長期入所施設」と位置づけられています。長期の入所が想定されているこの「村」では、かつて深刻な暴力の被害にあった方々が、今も入所者として暮らしておられます。

かにた婦人の村の母体であるベテスダ奉仕女母の家は、売春防止法制定の約2年前の1954年に、牧師である深津文雄さんによって創設されましたが、その創立のきっかけは、天羽道子さんが深津さんに「奉仕女」になりたいと自ら訴えたことでした。天羽さんは、キリスト教の信仰に基づき、貧困に苦しむ人々のために人生のすべてをかけて奉仕することを決め、その時から現在にいたるまで「奉仕女」としての志を貫いてこられました。天羽さんや、その他の「奉仕女」になることを願う女性たちの思いに感銘を受けた人たちが「祈りの友」として献金し、その活動を支えました。

ベテスダ奉仕女母の家によって、かにた婦人の村よりも先に、婦人保護施設いずみ寮が1958年に設立されましたが、そのいずみ寮で、1999年、女性として初めて寮長に着任されたのが、横田千代子さんです。横田さんは、売春防止法の女性差別的側面や、その法のもとでの「婦人保護」の限界を、現場において強く感じ取りつつも、その制度の内側から、施設の入所者の権利を守り真の女性支援を行うために、様々な改革を実現してこられました。

女性が女性を支援し、共に生きる場を創り出していこうとする中で、婦人保護施設に入所した方々は、どのように困難な現実と向き合い、暮らしてこられたのでしょうか？そこでの支援者の実践は、どのような思いや信仰に支えられていたのでしょうか？63年間、全く改正のない売春防止法に代えて、今後、どのような法が制定されるべきでしょうか？—この講演会では、コメンテーターとして、社会福祉学が専門の木原活信教授（同志社大学社会学部）と、ベテスダ奉仕女母の家とドイツのディアコニッセとの関係についてご研究なさっているレギーネ・ディート助教（同志社大学グローバル地域文化学部）にもご参加いただき、かにた婦人の村における先駆的な取り組みの歴史をふりかえることによって、女性の人権が大切に守られる社会をつくるために必要なことは何かを、会場の皆様と共に考えます。

かにた婦人の村 関連年表

1894（明治27）年	7月	矯風会、慈愛館開設に向けて土地購入
1900（明治33）年	7月	救世軍、婦人救済所（「醜業婦救済所」）開設
1935（昭和15）年	11月	深津文雄、茂呂塾開設
1946（昭和21）年	1月	GHQによる公娼制度に関する法規撤廃
1954（昭和29）年	4月	奉仕女志願者4名、上富坂教会（東京都文京区）に集まる （天羽道子、日本初の奉仕女として献身を願い出る）
	5月	深津文雄、ベテスダ奉仕女母の家開設
1956（昭和31）年	5月	売春防止法成立
	10月	ベテスダ奉仕女母の家、社会福祉法人設立認可
1957（昭和32）年	7月	ベテスダ奉仕女母の家で「転落女性更生施設」の開設決定
1958（昭和33）年	4月	婦人保護施設・いずみ寮開設（東京都練馬区大泉学園町）
	6月	久布白落実、いずみ寮訪問（コロニーの「種」をまく）
	8月	いずみ寮でガリ版文集『原石』創刊
	12月	コロニー後援会発足
1965（昭和40）年	4月	かにた婦人の村開設（千葉県館山市）施設長深津文雄、 他職員14名、初年度の入所者87名
1967（昭和42）年	9月	かにた婦人の村に製陶作業場竣工初窯
1969（昭和44）年	6月	かにた婦人の村で製菓作業開始
	11月	深津文雄『いと小さく貧しき者に』刊行
1970（昭和45）年	5月	かにた婦人の村の浴場の片隅で洗濯作業班始まる
1971（昭和46）年	7月	城田すず子『マリヤの賛歌』刊行
	9月	かにた婦人の村の製陶作業棟の軒下で木工作业班始まる
1972（昭和47）年	10月	かにた婦人の村に水曜学校開校
1976（昭和51）年	2月	かにた婦人の村で看護作業班発足
	4月	かにた婦人の村で養鶏が始まる 10月に乳牛飼育班発足
1978（昭和53）年	7月	かにた婦人の村で養豚が始まる
1981（昭和56）年	8月	かにた婦人の村で納骨堂付き会堂の定礎式
1985（昭和60）年	8月	かにた婦人の村、日本軍「慰安婦」鎮魂の柱を建てる
1989（平成元）年	4月	天羽道子、かにた婦人の村の施設長に就任（～2013年）
1999（平成11）年	4月	横田千代子、いずみ寮の女性初の寮長として就任
	11月	深津文雄『底点志向者ジェシュアガ』刊行
2001（平成13）年	4月	DV防止法成立
2014（平成26）年	6月	かにた作業所エマオ（就労継続支援b型）開設

〔参考文献〕『婦人保護長期入所施設かにた婦人の村創立50周年記念誌』（ベテスダ奉仕女母の家、2015年）、『婦人保護施設いずみ寮60周年記念誌』（ベテスダ奉仕女母の家、2018年）